



政務活動費交付請求書

2025年10月31日

四日市市長

会派名 新風創志会

代表者氏名 谷口 周司



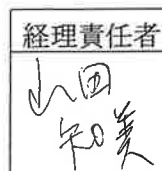
四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
2025年10月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請求額 401,927円

2 政務活動費の対象となる経費

区分	金額	備考
調査研究費	133,580	
研修費	226,685	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
広報費	3,880	/
広聴費	0	
人件費	0	
事務費	37,782	
合計	401,927	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。



内 訳 明 細

2025 年 10月分 No. 1

平野貴之

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費	¥83,609	
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	¥5,880	
合 計	¥89,489	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	新風創志会							
参加者氏名	平野 貴之							
用務先	札幌市							
実施日	令和7年10月21日 (火) ~ 令和7年10月25日 (土)							
目 的	研修(全国若手議員の会)・視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
10/21	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1~3泊目)	(1~3泊目)
	名古屋 ~ 中部 国際空港	39.3 KM	名鉄	980 円	円	円	食事なし	北海道
	中部 国際空港 ~ 新千歳 空港	988.0 KM	航空機	48,697 円	円	円	7,200 円	5,832 円
	新千歳 空港 ~ 札幌	46.6 KM	JR	1,230 円	円	円		【上限額】
10/24	札幌 ~ 新千歳 空港	46.6 KM	JR	1,230 円	円	円		(54,000 円)
	新千歳 空港 ~ 中部 国際空港	988.0 KM	航空機	円	円	円	(4泊目)	(4泊目)
10/25	中部 国際空港 ~ 名古屋	39.3 KM	名鉄	980 円	円	円	食事なし	愛知県
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	2,400 円	12,200 円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(15,000 円)
	~	KM		円	円	円	(5泊目)	(5泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				54,637 円	1,040 円	0 円	9,600 円	18,032 円
合 計				83,309				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

No. S1147739

領 収 書

2025年09月05日

ヒラノ タカユキ 様

¥48,697 -

消費税10%対象	¥45,258	-(税込)
消費税	¥4,114	-
課税対象外	¥3,439	-
但し、航空券代金等として		

上記正に領収いたしました

区間1 : 2025年10月21日 【割引運賃1】 名古屋(中部) — 札幌(新千歳) JAL3107 (13:30 — 15:10)

区間2 : 2025年10月24日 【割引運賃3】 札幌(新千歳) — 名古屋(中部) SKY768 (20:35 — 22:20)

シェアリングテクノロジー株式会社

愛知県名古屋市中村区名駅1-11-25 建タワナ 名古屋19F

愛知県知事登録旅行業第2-1435号

登録番号 T2-1800-0106-1708





ご搭乗券
BOARDING PASS

HIRANO/TAKAYUKI 様 099 HIRANO/TAKAYUKI 様 099
 FROM NAGOYA CHUBU CENTRAIR INTL
 TO SAPPORO NEW CHITOSE
 Operation JAL
 SEAT 35K QLNTHEAB

搭乗口 GATE 6
 搭乗締切時刻 BOARDING CLOSE TIME 13:20
 座席 SEAT 35K



保安検査場は 20 分前までに通過してください。
 PLEASE PASS THE SECURITY CHECK AT LEAST 20 MINUTES IN ADVANCE.

BOARDING GROUP 3

出発時刻の10分前までに
 搭乗口へお越しにならなかつた場合は
 ご搭乗いただけません。

PLEASE BE AT THE GATE AT LEAST 10 MINUTES
 BEFORE DEPARTURE OR YOU WILL NOT BE ABLE TO
 BOARD THE AIRCRAFT.

ETKT

搭乗券 Boarding Pass

アンケートにご協力をお願い
 (ご搭乗後の帰降後にお願ひ致します。)



768



HIRANO TAKAYUKI
 0061 768 25 1024
 8C7715542K149

中部 CHUBU
 行先 DEST. CHUBU
 19
 搭乗口 GATE

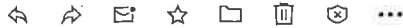
20:35
 出発時刻 DEP. TIME
 15F
 座席 SEAT
 通路席 AISLE

SKY768
 便名 FLIGHT
 10/24
 日付 DATE

搭乗口には出発時刻の15分前までにお越しください。
 Please be at the boarding gate at least 15 minutes before departure.

受付番号: 0061 HZKL6B 搭乗区間: CTS - NGO

← Back



☆ □ More ▾

- Inbox
- Sent
- Drafts
- Trash
- Spam
- Folders

📁 Inbox

領収書



Booking.com
To: me · Thu, Oct 9 at 5:34 PM ▾

[Visit site](#)

領収書

お客様の詳細

氏名 Takayuki Hirano

住所 四日市市八田
三重県,
5100-0001

メール [Redacted]

決済日 2025年10月9日

予約詳細

予約番号 6554833278

宿泊施設名 ゲストハウス EZO Run Sapporo 札幌中心部でシ
ンプルな滞在ができるホステル

所在地 Chuo-Ku Minami4Jo Higasi3Chome9-1
Sapporo, Japan
060-0054

チェックイン 2025年10月21日火曜日

チェックアウト 2025年10月24日金曜日

2025年10月9日に支払った額 **¥ 5,832**

この領収書は自動発行されたものです
こちらは決済を証明するためのものであり、付加価値税 (VAT) の還付目的には使用できません。
こちらは正式な明細書ではありませんので、ご注意ください
税金関連の手続きに必要な有効な明細書を発行できるのは宿泊施設のみとなります

広告が削除されま
した。
[詳細を表示する](#)

Booking.com

Oosterdokskade 163
1011 DL Amsterdam
オランダ

Copyright © 1996–2025 Booking.com. All rights reserved.

Booking.com経由で予約した宿泊施設に連絡することにより、弊社プライバシーポリシーの通信内容の処理に関する条項に同意するものとします。

2 attachments

Download all ↓

2.9 KB

935 B



Storage

Reply ↩

Forward ↗



赤れんが庁舎

HOKKAIDO
TEL:011-206-8390
札幌市中央区北3条西6丁目1番地

【領収書】

No. 4-00000202-20251022110711

発行日:2025年10月22日

取引日:2025年10月22日

様

¥300—

但 チケット代 として

上記正に領収いたしました

内訳
内税10%対象 ¥273 消費税 ¥27

支払明細
AMEX ¥300

登録番号:T3430001022088



toyoko inn

領 収 書

ヒラノ タカユキ 様

領収金額 ¥12,200

以下にて領収いたしました。

◆ご利用明細◆

2025/10/24
宿泊料 ¥12,000
**宿泊税 ¥200

10%対象 ¥12,000 (内 消費税額 ¥1,090)
宿泊税 ¥200
** 課税対象外

◆お支払い明細◆

クレジットカード ¥12,200

お部屋番号: 950

創業40周年
東横INNクラブカード会員さま
ご愛顧感謝キャンペーン



東横INN中部国際空港 I
TEL:0569-38-0045 FAX:0569-38-0046

印紙税申告納

付につき蒲田

税務署承認済

発行元
株式会社 東横イン
東京都大田区新蒲田1-7-4

登録番号:T8010601006465

取引番号:2251062195

2025/10/24 23:25

クレジットカードご利用明細

カード種別:IC 取引内容:売上
支払区分:一括 処理番号:5131

カード会社: 有効期限:

決済方法:クレジットカード決済

AID:A000000025016601

ATC:0272

製造番号:00092311711702

お支払総計:¥12,200

カード割当番号:0

結果コード:000

取引ID:08NUN7

証 明 書

CERTIFICATE

平野 貴之 様

下記のとおり証明いたします。

This is to certify that your flight had been

1. 遅延 Delayed
2. 欠航 Cancelled
3. その他 Others

発行所年月日 (Date)



備考欄 remarks

--

記

月 日 Date	2025 年 10 月 24 日 (金)
便 名 Flight Number	SKY768
区 間 Portion	札幌 (新千歳) 一名古屋 (中部)
時 刻 Time	20:35/22:20
照会番号 Reservation No.	HZKL6B
遅延時間 Time delayed	到着 41 分遅れ
遅延/欠航/運休事由 Reason of flight delayed or cancelled or flight suspension	使用する飛行機の到着遅れのため

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2025年10月25日

実施日時	2025年10月22日（水）11時00分～12時00分
参加者氏名	平野貴之
用務先	北海道庁赤レンガ庁舎
対応者	北海道議会事務局政策調査課 主査 清水康宏氏
目的・内容	本視察の目的は、歴史的建築物として保存される赤レンガ庁舎の展示運営手法や見せ方の工夫を学び、四日市市の博物館やばんこの里会館など地域文化施設における展示改善や来館者体験の向上に役立てることである。特に、資料のデジタル化や体験型展示、建物自体を学びの教材として活かす設計、多様な来館者への情報提供といった点を重点的に確認し、四日市市における文化施設運営の参考とすることを目的とした。
成果・所感	欄外に記載

北海道庁赤レンガ庁舎のリニューアル後の展示を視察した。本庁舎は、明治21年（1888年）に竣工された歴史的建築物であり、北海道の行政・歴史の象徴として広く市民に親しまれている。近年、老朽化対策とともに展示施設のリニューアルが行われ、歴史文化の発信拠点としての魅力を一層高めたことから、四日市市の博物館や地域文化施設運営に資する知見を得ることを目的として視察した。

赤レンガ庁舎に入館すると、まずその外観の壮麗さに目を奪われる。赤レンガの温かみのある色合いと、建築当初のネオ・バロック様式を踏襲した装飾が、歴史的価値と現代の都市景観との調和を実現していた。庁舎周辺の景観整備も行き届いており、散策しながら歴史建築を鑑賞できる設計になっている点が印象的であった。

館内展示では、北海道の開拓史や行政史、文化財などを紹介するさまざまなコーナーが設けられていた。特筆すべきは「展示の見せ方」に随所に斬新な工夫が施されている点である。例えば、資料の一部をデジタル化し、タッチパネルで閲覧できる仕組みを導入しているほか、古文書や写真資料を立体的に展示することで、単なる平面展示に留まらず、来館者が資料の歴史的背景や意義を直感的に理解できる工夫がなされていた。また、照明や展示ケースの配置にも工夫が見られ、来館者の視線を自然に誘導する動線設計が徹底されている点も印象的であった。特に、北海道の自然や開拓者の生活を紹介するコーナーでは、実物資料と映像、模型などを組み合わせることで、視覚的・触覚的に理解できる体験型展示が展開され

ていた。

加えて、歴史的建築物としての空間そのものを展示体験の一部として活かす設計がなされており、赤レンガや木製梁、階段といった建物の構造要素を、来館者に建築の美や歴史を感じさせる形で保存している。これにより、単に展示物を見るだけでなく、建物自体を学びの教材として活用できる仕組みとなっていた。

館内の解説も丁寧で、ボランティアによるガイドや音声ガイド、QRコードを活用した多言語対応など、多様な来館者に配慮されている点も見逃せない。特に多言語対応は、観光客や外国人住民にも北海道の歴史を広く伝える役割を果たしており、地域文化の国際的発信という観点からも参考になる取り組みである。

視察を通じ、私は四日市市の博物館やばんこの里会館など、地域文化施設の展示運営において、赤レンガ庁舎のリニューアル事例が多くの上級性を与えると感じた。具体的には、次の三点が参考になると考えられる。第一に、資料展示における「見せ方」の工夫である。デジタル化や体験型展示を活用することで、来館者の理解や関心を深めることができる。第二に、建物自体を学びの対象とする展示設計である。歴史的建築物の魅力を生かすことで、施設そのものの価値向上につながる。第三に、多様な来館者に対応した情報提供の充実である。音声ガイドや多言語対応により、地域文化の発信力を高めることが可能である。

これらの視点は、四日市市の施設運営においても応用可能であり、例えば博物館の常設展示の刷新や特別展の企画、ばんこの里会館における陶磁器文化の展示方法改善などに生かせる。また、来館者の体験価値を高めることで、地域の文化振興や観光振興にも寄与することが期待できる。

総じて、北海道庁赤レンガ庁舎のリニューアルは、歴史的建築物の保存と現代的展示手法の融合に成功した好例であり、四日市市における地域文化施設の展示改善や運営方針策定において、大いに参考となる事例であると結論付けられる。今後は、今回得た知見を踏まえ、四日市市の施設でも来館者にとって魅力的で学びの多い展示運営の実現を目指していくべきである。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2025年10月25日

実施日時	2025年10月22日（水）14時00分～15時50分
参加者氏名	平野貴之
用務先	北海道庁
対応者	株式会社札幌ドーム 代表取締役社長 阿部 晃士氏
目的・内容	本講義を受ける目的は、札幌ドームが直面する経営危機の中で、阿部晃士社長がいかにして再生への道を切り拓こうとしているのかを学ぶことである。とりわけ、プロ野球球団の移転により主力収益を失った後も、「地域の誇りを取り戻す」という強い使命感のもと、全天候型多目的施設として新たな価値創造に挑む姿勢は、四日市ドームの今後の活用にも通じる重要な視点である。第三セクターとしての公共性を維持しつつ、柔軟で開かれた経営改革をどう進めるかを学び、四日市市における公共施設運営や地域活性化のヒントを得ることを目的とする。
成果・所感	欄外に記載

本講演では、株式会社札幌ドーム代表取締役・阿部晃士氏の、波乱に満ちた経歴と共に、地域の象徴とも言える札幌ドームの再生に懸ける強い気概を伺うことができた。阿部氏はJTBで長年、地域創生やMICE（国際会議・展示会等の誘致）を担当し、旅行業の枠を超えた地域づくりの実務家である。香港での大規模デモ、オーストラリアでの長期ロックダウンといった危機の中でも、社員と共に創意を凝らし、組織を存続させてきた。その経験が、現在の札幌ドーム再建への姿勢に深くつながっていると感じた。

阿部氏が札幌ドームの社長に就任したのは2025年。就任を相談した全員が「やめておけ」と反対するほどの厳しい経営状況だったという。プロ野球・日本ハムファイターズの本拠地移転により、主たる収益源を失い、赤字が続いていた。しかし「札幌で育った自分が地元で恩返しをしたい」という思いから、JTBからの出向という形式を取りつつも、就任会見後に自ら退職届を提出し、退路を断って挑戦に臨んだ。その覚悟は、苦境にあっても前を向くリーダーのあるべき姿を体現していると感じた。

札幌ドームは2001年に竣工。30万㎡という広大な敷地に、世界唯一のホヴァリングサッカーステージ、4万1千席の収容規模を持つ。野球、サッカー、コンサート、スキー大会まで開催できる「全天候型多目的施設」であり、サッカーとラグビー両方のワールドカップを開催した世界唯一のドームである。しかし、第三セクターゆえの組織体質の硬直や、市条

例による柔軟な料金設定の制約など、民間的な経営判断がしづらいという課題を抱えていた。阿部氏はその現状を率直に受け止め、ドームの「第二の創生」を掲げた。

まず取り組んだのは、組織風土の改革である。職場のパーテーションを撤去し、オープンなオフィスに。朝礼を復活させ、社員との対話を重ねた。「Dreams Move Again. (夢を、再び動かそう)」を合言葉に、ドーム建設時の熱い志を思い出そうと呼びかけた。SNS上で批判的になっていた札幌ドームを、社員が胸を張れる職場にすることを目指したという。経営目標も「黒字化」「売上拡大」「30億円規模での市民還元」と、段階的なゴールを明確化。数字を掲げることで、職員一人ひとりの意識を経営へとつなげた点は印象的だった。

収益構造の見直しにも着手した。従来の貸館事業では年間20億円が限界であり、持続的黒字化のためには新規事業が不可欠と判断。阿部氏は平日稼働の拡大を狙い、企業向けのMICE誘致やコンサート事業を強化した。また、飲食・教育・旅行・ドローンなど、既存施設の機能を活かした新分野にも挑戦。広い屋外敷地を活用した「スノーパーク」や、展望台での「ナイトヨガ」「サバイバルゲーム」「Eスポーツ世界大会」など、従来の“スポーツ施設”の枠を超えた活用を次々に展開している。その結果、2024年度は稼働率70%を回復し、札幌市への経済波及効果は82億円に達したという。

こうした取り組みの根底には、「既存施設を活かしきる」という明確な信念がある。阿部氏は「日本ではアリーナが供給過多。これからの北海道は人口減少時代を迎える。だからこそ、新しい箱を作るより、今ある施設を磨くことが大切」と語った。この視点は、まさに地方都市における公共施設運営の核心であり、四日市ドームにとっても非常に示唆に富む言葉である。

四日市ドームもまた、全天候型の多目的施設として建設されながら、近年は稼働率の課題や利用の偏りが指摘されている。阿部氏のように「施設の再定義」と「地域との再接続」を軸に据え、運動・文化・教育・観光など多面的な活用を広げることが重要だと感じた。たとえば、札幌ドームの「ナイトヨガ」や「Eスポーツ大会」のように、若者や企業を巻き込む新しい利用形態は、四日市でも十分実現可能である。市民の健康増進イベント、企業研修や展示会、地域学生のキャリア教育事業など、「地域の居場所」としての機能を意識した運営に転換することが、今後の方向性として参考になる。

また、阿部氏が強調した「地域への経済波及」を意識した運営も重要である。札幌ドームは、単独で収益を上げるだけでなく、「札幌に一泊でも多く滞在してもらう」ための仕掛けを設け、周辺の飲食・観光業を巻き込んだ取り組みを展開している。四日市ドームにおいても、イベント開催時に周辺商店街や飲食店と連携し、地域全体での経済循環を生み出す戦略が求められる。

さらに印象的だったのは、阿部氏の「大幅な黒字化は必要ない」という発言である。公共性を担う第三セクターとして、最大の目的は“市民に利益を還元すること”であると明言した。経営の効率化と社会貢献の両立を掲げ、スポーツ振興基金などへの寄付を進める姿勢には、経済合理性だけでなく、地域共生への強い使命感が感じられた。

札幌ドームの再生は、単なる施設経営の話に留まらず、「地域の夢を再び動かす」挑戦である。阿部氏が掲げる「Dreams Move Again.」という言葉には、諦めずに立ち上がる地方都市の希望が込められている。四日市ドームもまた、市民の誇りとなる場として再び輝きを取り戻すことができるはずだ。そのためには、阿部氏のように、現場の声に耳を傾け、既存の枠を超えて挑戦するリーダーシップが不可欠である。

本講演を通じ、札幌ドームの経営再建の裏にある情熱と現実的戦略、そして地域と共に歩む姿勢に深く感銘を受けた。四日市市においても、ドームを中心とした「市民とともに育つ施設運営」を目指し、行政・民間・地域が一体となった活用のあり方を模索していきたい。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2025年10月25日

実施日時	2025年10月22日（水）16時00分～17時40分
参加者氏名	平野貴之
用務先	北海道庁
対応者	株式会社セコマ 代表取締役会長 丸谷 智保氏
目的・内容	人口減少が進む中で地域の暮らしをどう守り、持続可能な地域経済を構築していくかを学ぶため本講義を受講した。株式会社セコマは、辺境地や離島にも店舗を展開し、物流や生産体制を地域に根ざして確立している。その実践は、地域密着型の企業経営と防災力強化を両立する先進事例であり、四日市市における買物弱者対策や災害時の物資供給体制の検討にも大きな示唆を与える。本講義を通じて、人口減少社会に対応した地域づくりの新たな方向性を探ることを目的とする。
成果・所感	欄外に記載

1. はじめに

本講演では、株式会社セコマ（旧セイコーマート）の丸谷智保代表取締役社長より、同社の経営理念と実践について伺った。セコマは北海道を中心に1,239店舗を展開し、全道179自治体のうち175に出店している。離島も含め北海道全域をカバーし、「地域の生活を支えるコンビニエンスストア」として確固たる地位を築いている。

丸谷社長の講演は、単なる企業経営の話にとどまらず、「人口減少を受け入れたうえで、どう地域とともに生きていくか」という問いを突きつけるものであった。特に、辺境地への出店戦略や防災体制の整備は、今後の四日市市の地域づくり・防災計画にも多くの示唆を与える内容であった。

2. 人口減少社会への対応と地域密着経営

丸谷社長は冒頭、「人口減少は止めようがない。それを受け止め、どう対応していくかが重要」と語った。セコマが目指すのは、人口減少に抗うのではなく、地域の暮らしを守るために「関係人口を増やす」戦略である。

たとえば、観光地・ニセコや函館のように、外部からの流入人口が地域経済を支えている事例がある。四日市市でも、観光や地域ブランドづくりにより“関係人口”を増やす考え方は共通しており、示唆に富む視点である。

また、セコマは「食品サプライチェーン経営企業」として、調達・生産・加工・販売までを自社・契約農家で一貫管理している。7つの農場で年間2,200トンの野菜を生産し、価格の安定化を図る。市場価格が変動しても契約価格で買い取る仕組みを通じて、農家の持続可能な経営を支えている点も印象的だった。これは単なるビジネスではなく、地域産業の共存共栄モデルである。

3. 辺境地への出店と地域との協働

セコマの最大の特徴は、採算性だけでは測れない「辺境地への出店」にある。店がなくなれば過疎化が一気に進むという現実に向き合い、「地域の要請に応える出店」を行っている。

代表的な例が、紋別市上渚滑地区への出店である。人口900人、高齢化率40%の地域で、唯一の店が閉店。地域住民が期成会を立ち上げ600万円を集め、ドライブイン跡地を購入して市に寄付。市は建築費の半分を助成し、イトインコーナーを「冬でも暖かく待てるバス停」として整備した。セコマはこの地域の声に応え出店し、ニーズに合わせた品ぞろえで黒字化を達成した。

また、初山別村（人口1,200人、高齢化率35%）では、村長が4度も陳情に訪れた末に出店が実現。高齢者が歩いて買い物をし、店員との会話を楽しむことが、認知症予防にもつながっているという。

丸谷社長は「赤字覚悟の地域貢献は間違い。地域とともに歩みながら、なんとか黒字を維持して続けることが本当の地域貢献」と強調した。

この考え方は、四日市市の山間部や高齢化が進む地区での商業維持にも応用できる。単に「採算が合わないから撤退する」のではなく、「どうすれば継続できるか」を地域と共に考える姿勢こそ、持続可能な地域経営の基盤である。

4. 物流の工夫とサステナブル経営

広大な北海道全域に店舗を持つセコマにとって、物流は事業の心臓である。配送回数を他チェーンの3分の1に減らし、1回あたりの積載率を8割に高めることで効率化を実現。各店舗に広めのバックヤードを設け、在庫管理を強化するなどの工夫をしている。

さらに、廃食油をBDF（バイオディーゼル燃料）として自社トラックの燃料に再利用するなど、循環型経営にも積極的だ。古紙回収・圧縮販売や、公共施設・空港車両への燃料供給も行っており、「地域と環境を支える物流体制」と言える。

四日市市においても、災害時や高齢化の進展に対応するため、地産地消型の物流・流通ネットワークの構築は今後ますます重要になる。セコマのような「地域サプライチェーンの自立化」は、地場企業との連携モデルとして大いに参考になる。

5. 災害への備えと防災協定の実践

2018年の北海道胆振東部地震の際、全道的なブラックアウト（全停電）が発生したが、セコマは全店で「車のエンジンから電源を取る簡易装置」を備えており、いち早く営業を再開した。

物流センターの一つである釧路センターは自家発電設備と給油施設（4.8万リットル備蓄）を持ち、完全自立型の防災拠点となっている。

さらに、自治体との災害協定では「担当課との携帯電話番号交換」を重視しているとい

う。災害時に、どの避難所にどの物資をどれだけ届けるか、直接連絡できる関係づくりが実際の現場では何よりも重要だからだ。

国土交通省の開発建設部とも「道路啓開拠点提供協定」を結び、重機の配置スペースを提供している。これらは、民間企業が行政の一翼を担う新しい防災モデルである。

この防災対応は、四日市市にとっても非常に示唆的である。南海トラフ地震などの大規模災害時、市内の物流機能が麻痺すれば、食料・燃料・医薬品の供給が途絶する可能性がある。セコマのように「地域物流を支える企業との協定」や「エネルギー自立型拠点の整備」を進めることが、地域のレジリエンス強化につながる。

6. 地域のポテンシャルと未来志向

セコマは「地域には必ずポテンシャルがある」との信念のもと、道産食材を活用したオリジナル商品を350品以上開発している。外販取引先は全国400社以上に広がり、北海道ブランドを国内外へ発信している。

高齢化社会では「高いものは売れない」と明言し、原価を下げる工夫を徹底。加工時のロスを減らし、年間2,317トンの食品ロス削減するなど、持続可能な経営を実践している。

四日市市もまた、地域産品や地場産業を活かしたブランド化に取り組む余地がある。特に農業・食品・物流の連携を通じた「地産流通モデル」の構築は、セコマの実践が貴重な参考になる。

7. まとめと四日市市への示唆

丸谷社長の講演を通じて最も印象的だったのは、「できない理由を探すのではなく、どうすればできるかを考える」という経営姿勢であった。

辺境地においても、災害時においても、「地域の暮らしを支える」ことを事業の本質として位置づける。そのために物流・エネルギー・人のつながりを自前で整え、地域とともに利益を分かち合う。この姿勢は、今後の地方自治の在り方にも通ずる。

四日市市においても、山間部や沿岸部、離島の地域における買物弱者対策や、災害時の物資供給体制づくりにおいて、セコマの「地域と共に生きる経営」は非常に示唆に富む。

地域密着型企业との協働を進め、行政が「支援者」から「共創者」へと転じることが、持続可能なまちづくりの鍵となるだろう。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2025年10月25日

実施日時	2025年10月23日（木）9時30分～10時50分
参加者氏名	平野貴之
用務先	北広島市役所
対応者	株式会社イチニ 代表取締役 高畑卓氏
目的・内容	本講義を受ける目的は、デジタル時代における議会や議員の広報・広聴の在り方を学ぶためである。SNSや動画配信が主流となる中で、従来の一方向的な情報発信では市民の理解や共感を得ることが難しくなっている。そこで、第一線で実践を重ねてきた高畑卓社長から、現代のメディア環境に即した発信方法や、市民との双方向的なコミュニケーションの構築法を学び、議会活動の透明性と信頼性を高めたいと考えた。また、若手議員同士が共に学び合い、地域ごとに効果的な広報手法を模索する契機とすることも目的としている。
成果・所感	欄外に記載

全国若手議員の会の研修において、選挙ドットコムを運営する株式会社イチニ代表取締役・高畑卓氏による「デジタル時代の広報戦略」をテーマとした講演を受講した。高畑氏は、長年にわたり政治とインターネットの関係を研究・実践してきた第一人者であり、メディア環境が急速に変化するなかで、議会や議員がどのように市民とのコミュニケーションを取っていくべきかについて、極めて示唆に富む内容であった。

1 “情報の時代” から “関係の時代” へ

高畑氏がまず強調したのは、「情報を届ける」ことから「関係をつくる」ことへの転換である。これまでの議会広報は、議会だよりや市公式サイト、ケーブルテレビなど、いわば一方向的な伝達手段が中心であった。だが現代では、SNSや動画配信を通じて、市民が“発信者”にもなっている。つまり、発信力の中心が公的機関から生活者の側に移りつつあるのだ。

この環境の変化の中で、議員や議会が果たすべき役割は「情報の提供者」から「対話のファシリテーター」へと変化している。高畑氏は、「どれだけ多くの人に知ってもらうか」よりも、「どれだけ多くの人と話ができるか」が重要になると述べた。情報量ではなく、共感・信頼・継続的な関係性こそが、現代の広報活動における価値である。

2 動画発信の可能性と“フェーズ2”への移行

近年、YouTubeやTikTokなどの動画プラットフォームが急速に拡大している。高畑氏は、これを「広報広聴活動のフェーズ2」と位置づけた。従来の文字や写真を中心とした広報（フェーズ1）に対し、フェーズ2では、短時間で視覚的・感情的に訴える映像表現が主軸となる。

特に注目すべきは、視聴者が“自分ごと”として感じられる構成である。議員が政策を解説するだけでなく、現場での取り組み、地域課題への対応、市民との対話の様子など、リアルな姿を発信することで、親近感と信頼を高めることができる。

また、動画の拡散の仕組みそのものも大きく変わってきた。再生数の多くは、議員自身が投稿した動画ではなく、第三者による“切り抜き”や“共感的シェア”によって生まれている。これは、市民が「この考え方を広めたい」と感じた時に自然に拡散される仕組みであり、まさに“共感を媒介する広報”と言える。

3 “少人数講義”で得た深い学び

今回の講演は、全国若手議員の会として実施された。質疑応答の時間が多く設けられ、一人ひとりが抱える課題に対して、直接的で具体的な助言をいただくことができた。

特に印象に残ったのは、講演前日の意見交換会での出来事である。高畑氏を囲み、まるで家庭教師に指導を受けるような濃密な時間であった。私は自身の動画を見てもらいながら、「どのように視聴者の心をつかむか」「どの場面でテロップや間を入れると伝わりやすいか」といった具体的なポイントを丁寧に教えていただいた。

このような形で、理論だけでなく、実際の制作物に即したアドバイスを受けられたことは、何より貴重であった。単に“発信すべき”という抽象的な話ではなく、「どのように」「誰に」「どんなストーリーで」伝えるかを実践的に学ぶことができた。

4 “発信”から“信頼”への構築

高畑氏は、「SNSは道具にすぎない」とも述べていた。目的はフォロワー数や再生数を増やすことではなく、市民との“信頼の橋”を架けることである。短期的な話題よりも、継続的に地域の課題を分かりやすく伝え、成果や失敗を包み隠さず共有していく姿勢が、市民からの信頼を生む。

特に、誤解を恐れずに政策の裏側を説明したり、行政との協働の過程を見せたりすることは、透明性の向上にもつながる。デジタル技術は“距離を縮める道具”であり、それをどう使うかは発信者の倫理観と目的意識にかかっている。

また、コメント欄やSNS上での対話を「批判」と捉えるのではなく、「広聴」の機会と捉える視点も重要である。市民の反応の中には、次の政策テーマのヒントが隠れていることも多い。広報と広聴を一体的に捉えることこそ、これからの時代に必要な姿勢だと感じた。

5 若手議員の会の価値

今回のように、全国の第一線で活躍する専門家から直接学べることは、若手議員の会の

大きな魅力である。単なる講義ではなく、少人数で率直に質問し合い、互いの実践を共有しながら学ぶことができるのは、この会ならではの環境だ。

また、世代的にもSNSやデジタルツールを使いこなす議員が多く、研修を通じて得た知見をすぐに実践に移せる。こうした“即実行型”の学びは、地域の情報発信力を高め、結果的に住民参加型の議会運営を後押しするものになると感じた。

6 おわりに

今回の講演を通して、広報とは「知らせること」ではなく、「つながること」であると改めて実感した。情報発信の目的を“伝達”から“関係構築”へとシフトすることが、これからの議員や議会に求められている。

今後は、講演で学んだ知見をもとに、地域課題や政策をより分かりやすく、かつ双方向的に伝える取り組みを進めていきたい。

そして、市民一人ひとりが「議会を自分ごととして感じられる」発信を目指し、継続的な発信と対話を積み重ねていくことが、地方自治の新しい姿をつくる第一歩になると確信している。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2025年10月25日

実施日時	2025年10月23日（木）11時00分～15時00分
参加者氏名	平野貴之
用務先	北広島市役所、エスコンフィールド北海道
対応者	北広島副市長 川村 裕樹氏
目的・内容	本講義を受ける目的は、プロ野球球団誘致という大胆な挑戦を通じて、小規模自治体がどのように持続可能なまちづくりを実現したのかを学ぶことである。特に、北広島市が採用した「すべてを最初に決めず、フェーズごとに柔軟に計画を進める」手法は、変化の激しい現代社会において極めて合理的である。この考え方は、公共施設整備や中心市街地の再生など多様な課題を抱える四日市市にも応用できる。官民連携の在り方や、市民合意を丁寧に積み重ねるプロセスを学び、今後のまちづくり政策に活かすことを目的とする。
成果・所感	欄外に記載

1. 小さなまちの挑戦と、時代に即したまちづくりの新しい形

今回の講義は、北海道北広島市の副市長である川村裕樹氏を招き、「小さな自治体がなぜ球団誘致に至ったのか」というテーマで行われた。川村氏は、エスコンフィールド北海道を中心とする「北海道ボールパークFビレッジ」の実現に尽力した中心人物であり、その背景や経緯には、地方自治体の今後を考えるうえで多くの示唆が含まれていた。

北広島市は人口約6万人。高齢化率は40%を超え、小学校の統合が進むなど、典型的な札幌のベッドタウンとして成熟期を迎えていた。市街地の郊外化や若年層流出が進み、将来に向けたまちの成長戦略を描きづらい状況にあった。しかし、川村氏らはそうした「小さなまちの限界」をむしろ逆手に取り、「地域の未来への挑戦」としてプロ野球チーム・北海道日本ハムファイターズの本拠地誘致を実現させたのである。

2. 手つかずの土地を「夢の原野」に変える構想力

Fビレッジが建つ32ヘクタールの土地は、もともと50年前に運動公園として都市計画決定されながら、一度も整備されることなく残されていた区域であった。周囲には特別天然記念物指定の森があり、環境保護団体や高校保護者からの反対も強かった。だが、川村氏は「反

対を『仕方ない』と言わせるまで丁寧に説明することが大事」と語る。粘り強い対話を続ける中で、かつての反対者が今では「応援する会」を立ち上げるほどに転じたという。

この土地活用の転換点は、2015年の市長公約「運動公園整備」から始まる。その意見交換の場で、ファイターズ側から突如「球場移転構想」が持ちかけられた。札幌ドームでは実現できない「地域と共につくるまちづくり」を、北広島で実現したいという提案である。市としても、球団の道外移転を食い止めたいとの思いが重なり、翌2016年には全会一致で誘致を決定。以後、スピーディかつ大胆な行政運営が展開された。

3. フェーズごとに進化する「柔軟なまちづくり」

北広島市の最大の特徴は、事業を「フェーズごと」に進める計画手法にある。従来の行政計画のように、最初に全体像をすべて決めてから着手するのではなく、その時々々の社会情勢やトレンドに応じて次の整備内容を決めていく。この「動的な計画」は、結果的に事業を時代に即した形で進化させることにつながった。

たとえば、大学移転やホテル建設、新駅整備など、当初構想にはなかった新しい要素が後のフェーズで次々と実現した。最初から固定的な設計をしていたなら、これらの柔軟な発展は不可能だっただろう。議会でも理解を得るのは容易でなかったというが、川村氏は「最初に全部決めるまちづくりは失敗する」と断言する。

この“段階的まちづくり”こそ、変化の激しい現代社会における新しい行政の在り方を示している。人口動態、技術革新、価値観の変化が急速に進む今、長期計画を一度立てたまま固定するリスクは大きい。むしろ、民間企業のスピード感に合わせ、時代の波を読んで柔軟に舵を切ることこそ、持続可能な都市経営の鍵といえる。

四日市市においても、この考え方は大いに参考になる。中心市街地の再生や公共施設の更新、防災インフラの整備など、多くの課題を抱える中で、「今すぐ最終形を描く」のではなく、「フェーズごとに合意形成と改善を積み重ねる」というアプローチは、将来のまちづくりをよりしなやかにするはずだ。

4. 官民連携がもたらすスピードと創造性

北広島市は、土地を市が所有しながらも、建物はすべて民設民営とした。民間の創造力と資金を引き出し、行政は「仕組みを整える黒子役」に徹した点が特徴的だ。ネーミングライツの許可も構想段階から想定しており、資金調達の柔軟性を確保した。

さらに、民間が主導することで自由な発想が生まれた。エリア内には、シーズン限定居住者向けの高級分譲マンションやサービス付き高齢者住宅（サ高住）、子ども政策を重視した施設が整備され、単なる野球場ではなく「人が暮らし、学び、交流する複合都市空間」へと発展している。

また、完全キャッシュレス化や独自の広告物条例制定、さらには住所の改編にまで踏み込む柔軟な発想は、まさに「民間と行政の融合」がもたらした成果といえる。川村氏はこれを「49:51理論」と呼び、行政49%・民間51%のバランスで“儲けながら社会貢献する”形を模索していると説明した。

5. 地域と共に歩む「稼ぐ自治体」へ

球場の経済波及効果は年間500億円にのぼり、ふるさと納税の増収効果も顕著である。だ

が、川村氏が強調するのは単なる経済効果ではなく、「社会的価値の具現化」だ。大学と連携してボールパークの社会的意義を研究し、地域の人づくり分科会では、平日デーゲームに合わせて子どもを無料招待するなど、地域全体で成長する仕組みを育てている。

行政の役割も「コストセンター」から「プロフィットセンター」へと変化している。つまり、単に税金を配分する機関ではなく、地域資産を活かして自ら稼ぎ、再投資する自治体経営への転換である。この姿勢は、地方分権時代を迎えたすべての自治体に共通する重要な視点だ。

6. まとめ

川村副市長の講義は、小さなまちだからこそできる大胆な挑戦、そして固定観念に縛られない柔軟な行政経営の重要性を教えてくれた。北広島市の成功の核心は、「フェーズごとに進化させる都市づくり」と「官民が共に稼ぐ仕組み」の二つにある。

四日市市も、これからのまちづくりにおいては、初期段階から全てを決め込まず、フェーズごとに民間や市民との共創を重ねながら、変化に強いまちをつくることが求められる。北広島市の事例は、四日市市が将来に向けてどのように挑戦していくべきかを考えるうえで、極めて有意義なヒントとなった。

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

2025年10月25日

実施日時	2025年10月24日（金）10時00分～11時20分
参加者氏名	平野貴之
用務先	札幌市役所
対応者	札幌市 ユニバーサル推進室 推進担当課長 松原卓也 氏 推進担当係長 三浦雄平 氏
目的・内容	本視察の目的は、札幌市が制定した「つながる札幌条例」に基づく共生社会の実現に向けた取組を学び、四日市市の今後のまちづくりに活かすことにある。札幌市では、性別・年齢・障がい・国籍・価値観など多様な違いを尊重し、誰もが暮らしやすい包摂的なまちづくりを進めている。理念だけでなく、バリアフリー整備や多文化共生支援など具体的な施策を全庁横断で推進している点は注目値する。本視察を通じ、四日市市においても多様性と包摂の両立を重視し、市民・事業者・行政が協働する仕組みづくりを検討する契機としたい。
成果・所感	欄外に記載

札幌市が令和7年4月に施行を予定している「つながる札幌条例」について、その制定背景や理念、具体的な取組内容を学んだ。本条例は、共生社会の実現を目指す理念条例として位置づけられており、市民・事業者・行政がともに多様性を尊重し、誰もが暮らしやすいまちを目指すことを目的としている。

1. 条例制定の背景

札幌市では、多様な市民が共に生活している。市内人口のうち、LGBT当事者は約9%、高齢者は27%、障がい者は7%、外国人住民は約1%（約2万2千人）に達しており、特定技能制度や半導体関連企業ラピダスの影響もあり、今後も増加が見込まれている。また、札幌市の男女比は47：53と政令市の中でも女性比率が高く、「女性が活躍できるまち」という側面も大きな特徴である。

一方で、障がい者の約3割しか「札幌は暮らしやすい」と感じていない現状がある。特に雪の多い地域特性もあり、ハード面の整備だけでは十分とは言えない。こうした現状を踏まえ、「誰もが当事者である」という視点のもと、多様性を尊重しつつ包摂的なまちづくりを進める必要があるとの認識から、本条例が構想された。なお、この条例の制定は市長の公約の一つとして掲げられ、新たに共生社会推進部局も設置された。

2. 条例の目的と構成

本条例の目的は以下の3点に整理されている。

- (1) 共生社会の実現に向けた基本理念の共有
- (2) 多様性を尊重し、包摂的なまちづくりを推進するための基本的施策の設定
- (3) 市民・事業者・行政が協働・共創する仕組みの構築

条例の特徴は、「多様性の尊重」と「包摂的なまちづくり」を車の両輪として位置づけている点にある。多様性の尊重とは、性別や障がい、国籍、年齢といった外見的な違いのみならず、価値観や考え方など内面的な多様性をも含む。一方で、「多様性」は決して「好き勝手に生きる」ことではなく、他者と共に生きる包摂性を伴うことが強調されていた。札幌市では、孤立している人も「つながりたくない人」として排除せず、「困ったときにつながれる手段があること」こそ真の共生であると定義している点が印象的であった。

3. 具体的な取組

(1) ハード面の取組

共生社会の実現に向け、札幌市では複数の部局が連携してバリアフリー整備を推進している。公園にはインクルーシブ遊具を導入し、地下鉄では車両とホームの段差・すきま解消を進め、車いすやベビーカー利用者の移動を容易にする環境整備を行っている。店舗や医療施設、宿泊施設へのバリアフリー化補助も実施しており、国交省のバリアフリーシンポジウム開催など、全国的な情報発信にも積極的だ。東京オリンピック・パラリンピック時にはパラリンピックチームを受け入れ、「バリアフリーホストタウン」としての実績も重ねている。

(2) ソフト面の取組

多文化共生の推進にも力を入れており、外国人市民向けの通訳サポートやゴミ出しルールが多言語化など、生活支援の体制を整えている。また、これまで別々に進めていた認知症支援と障がい者支援を連携させるなど、縦割りを超えた包括的な支援を展開している。

さらに、色弱者向けのカラーユニバーサルデザイン、UDフォントの活用、職員研修の実施など、情報バリアの解消にも取り組んでいる。旅行分野では、移動支援や宿泊サポートを地図上で一括表示する「ユニバーサルMaaS」の推進事例も紹介された。旭川市ではANAなどと連携し、車いす対応施設をまとめて予約できるサービスを展開しており、札幌でも今後の導入が検討されている。

4. 条例の浸透と今後の展開

条例施行に向け、市民ワークショップを開催し、条例名やロゴも公募によって決定した。多数の応募が寄せられ、市民自身が条例に愛着を持てる工夫がされている点が特徴的である。また、条例の理念を「心のバリアフリー」として日常生活に浸透させるため、お互いに助け合う意識を育む啓発活動を継続的に実施している。

条例の推進体制としては、有識者、経済団体、自治会、学生、市民など幅広いメンバーで構成された委員会を設置し、各分野の進捗を横断的・客観的に確認する機能を持たせている。理念条例としての位置づけを超え、実効性のある仕組みづくりを目指している点に、札幌市の本気度が感じられた。

5. まとめと所感

「つながる札幌条例」は、単なる福祉政策ではなく、都市経営全体を貫く理念として多様性と包摂を位置づけた点に大きな意義がある。人口減少局面に入った札幌市が、外国人、障がい者、子ども、高齢者など、すべての市民をまちづくりの主体と捉える姿勢は、今後の地方自治におけるモデルとなりうる。

四日市市においても、多様性を認め合い、孤立を防ぐまちづくりは喫緊の課題である。札幌市のように、市民や事業者と行政が共創する枠組みを構築し、理念を共有しながら地域全体で共生社会を育む取組を進めていくことが求められる。

領収書

平野貴之 様

5,880円領収しました

但し:エレコムダイレクトショップとの取引として

利用情報

注文番号:193217-20250930-0863927439
お支払い方法:クレジットカード注文日:2025年09月30日
発送日:2025年10月01日

領収者情報

領収者:エレコム株式会社
登録番号:T5120001094974店舗名:エレコムダイレクトショップ
店舗住所:〒541-8765
大阪府 大阪市中央区 伏見町4-1-1 大阪明治
生命館ランド・アクシス・タワー9階
電話番号:0570-000-420

注文合計

商品小計 5,880円
総合計 5,880円
支払い金額 5,880円支払い内訳
クレジットカード 5,880円
課税内訳
10%対象 5,880円
うち10%対象消費税 534円※表示金額は全て税込です
※支払い金額は総合計からポイントを除いた金額です

注文情報

配送情報

配送方法:宅配便

お届け先住所:

商品明細

明細種別	商品番号	商品名	数量	単価(税込)	税率	小計(税込)
初回注文	TK-FBP100BK	エレコム ワイヤレス ミニ キーボード 超薄型 Bluetooth ブラック Windows11 対応 ELECOM TK-FBP100BK	1	5,880円	10%	5,880円

※表示金額は全て税込です

内 訳 明 細

令和7年 10月分 No.2

石川 善己

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
広 報 費	3,880	市政報告会会場使用料
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 費	0	
合 計	3,880	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

様 No. _____

石川善己

領収証

★ 7,800

但

昭和7年 10月 25日 上記正に領収いたしました

四日市市高花平3丁目1-51
高花平連合自治会

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

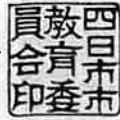
第2号様式 (第6条関係)

四日市市〔水沢〕地区市民センター 使用許可書
使用料決定

令和 7 年 9 月 4 日

(申請者) 住所 四日市市水沢 7-99-12

四日市市教育委員会



団体名

代表者氏名 石川 正志

電話番号

使用目的
(減免申請理由)

新設報告会

使用人員

20 人

使用日時 及び 使用場所	年月日(曜日)	使用場所(区分)	使用時間区分		
			午前	午後	夜間
令和 7.10.24(金)	大会室(中)			9	18:00 - 21:00
・ ・ ()	()	()			
・ ・ ()	()	()			
・ ・ ()	()	()			
・ ・ ()	()	()			
・ ・ ()	()	()			

持込品

入場料等の徴収

徴収する (1人

円)

徴収しない

使用責任者

(TEL

) /

申請者と同じ

使用料

使用料	区分	小	中(60㎡以上)	大(100㎡以上)	特大	調理代	合計
		(60㎡未満)	100㎡未満)	200㎡未満)	(200㎡以上)		
		660円	880円	1,100円	1,760円	220円	
	使用回数	回	/ 回	回	回	回	
納付額		円	880円	円	円	円	880円
使用料減免	<input checked="" type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する (条例施行規則第8条第1項第〔 〕号の規定による)						

- 備考 (1) 四日市市地区市民センター条例及び同条例施行規則の規定を遵守し、係員の指示に従ってください。
(2) 使用後は、設備等を原状に復し、係員の点検を受けてください。
(3) 地区市民センター事業等に使用するために使用許可を取り消す場合があります。

使用料領収済印

許可番号

水沢 許一 84号

内 訳 明 細

令和7年 10月分 No. 3

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	71,210	視察
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	12,618	パソコン周辺機器
合 計	83,828	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

谷口 周司

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	新風創志会							
参加者氏名	谷口 周司							
用務先	都城市							
実施日	令和7年10月22日 (水) ~ 令和7年10月23日 (木)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
10/22	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 博多	808.9 KM	JR	27,320 円	13,660 円	円	朝食付	宮崎県
	博多 ~ 鹿児島 中央	288.9 KM	JR	↓ 円	↓ 円	円	1,600 円	8910 円
	鹿児島 中央 ~ 西都城	73.4 KM	JR	↓ 円	1,530 円	円		【上限額】
	西都城 ~ 都原市営 住宅前	KM	バス	220 円	円	円		(17,000 円)
10/23	都原市営 住宅前 ~ 西都城	KM	バス	220 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	西都城 ~ 鹿児島 中央	73.4 KM	JR	↓ 円	1,530 円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	鹿児島 中央 ~ 博多	288.9 KM	JR	↓ 円	13,660 円	円	0 円	円
	博多 ~ 名古屋	808.9 KM	JR	円	↓ 円	円		【上限額】
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				29,280 円	31,420 円	0 円	1,600 円	8,910 円
合 計				71,210				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

請求書
BILL



ベッセルホテル都城
VESSEL HOTEL MIYAKONOJO
〒885-0004 登録番号 T6240001033853
宮崎県都城市都北町5819番地3
5819-3, Tohoku-cho, Miyakonojo, Miyazaki
TEL 0986-46-7777 FAX 0986-46-7778

Name お名前
谷口 周司 様

No.368459-DP

ROOM NO. お部屋番号 1805	PERSON. 人数 1	ARRIVAL DATE. 到着日 2025/10/22	DEPARTURE DATE. 出発日 2025/10/23
------------------------	-----------------	---------------------------------	-----------------------------------

DATE 日付	ROOM NO. お部屋番号	EXPLANATION ご明細	CHARGES ご料金	CREDIT お支払等	BALANCE 残高
25/10/22	1805	ご宿泊代	8,910		8,910
		ご請求額	¥8,910		
		税抜金額	¥8,100		
		10%対象	¥8,910		
		消費税	¥810		
TOTAL AMOUNT ご利用金額			8,910	0	8,910

発行: VMJ02 17:34:05
担当: 藤東 VMJ

CREDIT
その他

(ご料金合計には消費税 ¥810 を含みます。)
※印がついている商品は軽減税率対象となります。

ご署名
SIGNATURE

切り取り線

領収書
RECEIPT

No.368459-DP
日付: 2025/10/22



ベッセルホテル都城
VESSEL HOTEL MIYAKONOJO
〒885-0004 登録番号 T6240001033853
宮崎県都城市都北町5819番地3
5819-3, Tohokuchō, Miyakonojo, Miyazaki
TEL 0986-46-7777 FAX 0986-46-7778
(作成地)株式会社ベッセルホテル開発 広島県福山市南本庄三丁目4番27号

領収書名 谷口 周司 様

ご請求額 AMOUNT DUE	¥8,910-
内消費税 TAX	¥810

税 付 印
務 につ き 紙
署 承 認 税
済 済 納 告
納

ご請求額 ¥8,910
税抜金額 ¥8,100
10%対象 ¥8,910
消費税 ¥810

現金	CASH	
クレジット	CREDIT	
QR	QR	

税抜金額5万円以上は、収入印紙貼付。クレジットご利用は印紙税
法別表第1第17号文書に非該当のため印紙税は非課税です。

但し 朝倉 付迄

担当者
CLERK

（ 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ） 報告書

令和7年 10月 24日

実施日時	令和7年 10月 23日（金） 9時00分 ～ 12時30分
参加者氏名	谷口周司
用務先	宮崎県都城市 「大石製茶園」
対応者	大石製茶園 代表 大石春樹 氏 都城市議会議員 榎木智幸 氏 都城市議会議員 中村千佐江 氏
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶生産者としての取り組みについて ・今後の課題、展望について ・意見交換会
成果・所感	<p>今回は、宮崎県都城市にある「大石製茶園」にお伺いをさせていただき、お茶生産者としての取り組みについて、学ばせていただきました。</p> <p>説明、対応していただいたのは、「大石製茶園」の代表：大石春樹氏にお世話になり、生産のこだわりや課題、今後の展望等、詳細にお話を聞かせていただきました。とても熱心な説明であり、非常に有意義な時間となりました。また、都城市議会議員の榎木智幸議員や中村千佐江議員にも同席をいただき、都城市としての取り組みについてもご教授をいただきました。</p> <p>そもそも都城市は「都城盆地」など盆地形状・山に囲まれた地形を有しており、昼夜・季節の寒暖差が大きくなる傾向があります。例えば「冬と夏、昼と夜との寒暖の差が大きく」、また「季節の変わり目には一寸先も見えない程の朝霧が立ち込める」とのこと。</p>

成 果 ・ 所 感

よって、茶樹にとっても、昼間の光合成と夜間の冷え込み、そして霧により直射日光が抑えられつつ湿度が保たれる、という条件は「旨味成分を蓄える」「ゆっくり生育して味を深める」点で好ましいと考えられます。

では、お伺いさせていただいた「大石製茶園」については

① 経営体制・規模・背景

宮崎県都城市都原町 7638-3に所在。

家族経営で、茶の栽培から製造・販売まで一貫して手掛けています。茶園面積およそ 約4.5～5 ヘクタール（約東京ドーム1個分に相当）という規模で運営されています。

創業のルーツは曾祖父・祖父の代にまで遡る茶作りの歴史があり、現在の3代目（大石 春樹さん）らが運営しています。

② 栽培・製造のこだわり

有機栽培・無農薬への移行を明確に掲げており、JAS認証の有機農産物・有機加工食品を取得しています。

「お茶の生産者であると同時に消費者である私たち」という視点を持ち、安全性・品質を常に高いレベルで意識しているという言葉が印象的でありました。

製造工程では、昔ながらの手揉み製法も取り入れており、特に手摘み・手もみの工程を大切にしている点が紹介されていました。

製造加工では、生葉→荒茶→仕上茶といった流れだけでなく、焙煎（火入れ）や選別といった最終品質を左右する工程にも細かくこだわっており、「香りを頂くもの」という意識をもって製造されています。

③ 品種・商品ラインナップ・特徴

主に使っている品種には、やぶきた・おくみどり・ふくゆたか・はるもえぎ・さきみどり・夢かおりなどがあります。

特に「おくゆたか」の一番茶100%使用という高級煎茶も商品としてラインナップされています。

有機栽培品種も豊富で、「有機 ゆめかおり」「有機 あさのか」などの無農薬／有機JAS認証品があることが記載されています。

商品には煎茶だけでなく、ほうじ茶・烏龍茶・粉茶・和紅茶（ティーバッグタイプ）など多角的な展開もしています。

成 果 ・ 所 感

④ 強み・差別化ポイント

地域としての栽培・製造・販売までを自社・自園で完結している“生産者直結型”の運営スタイル。これにより、品質・安全性・トレーサビリティ（どこでどう育てたか）が明確になっています。

有機・無農薬栽培という付加価値による差別化。消費者側の安心志向・健康志向を捉えている点がやはり強みです。

手摘み・手もみ・丁寧な製造工程という“手作り・小ロット・こだわり”の製茶スタイル。地域では数少ない手もみ茶を手がけているということもあります。

商品としての品質評価も高く、例えば「日本茶AWARD 2021 プラチナ賞受賞」の銘柄も持っています。

地域・観光・食文化とも連携しており、地元の「道の駅」販売や農業高校との連携・食体験企画など、茶をきっかけとした地域発展にも積極的という点が非常に強みだと感じました。

⑤ 今後の展望・チャレンジ

有機栽培・無農薬栽培への“完全移行”という目標があり、「海外にも出していけるようなお茶を作る」というグローバル展開志向も語られていました。

“お茶を使ったスイーツ展開”など新しい価値提供も検討中で、ただ単に飲むお茶だけでなく、体験・加工・商品化という次のフェーズを視野に入れていました。

一方で、栽培・製造において「労働／時間」「在庫管理」「販路拡大」という課題にも言及しており、小規模ならではの“丁寧だが時間がかかる”という制約をどう活かすかが鍵となっているという話も聞かせていただきました。

今回の視察では、宮崎県都城市の「大石製茶園」にお伺いをさせていただき、お茶生産者による取り組みについて学ばせていただきました。茶畑では現場での苦労や立地の優位性を聞かせていただき、その後は近くの公民館にて資料を元にご教授をいただきました。生産におけるメリット・デメリット、先進事例、海外販路拡大について様々な角度から質問もさせていただき、生産者からは詳細にお答えをいただきました。まだまだ、四日市では進んでいない取り組みについても気づくことができ、非常に学びの多い時間となりました。今後の活動に活かしていきたいと思えます。

登録番号 T2010701007407
 中部空港中央ゲート店
 TEL: 0569-38-7062
 愛知県常滑市セントレア1-1
 領収書

店No: 000009702 レジNo: 970201
 2025年10月22日(水曜日) 11時47分
 000010558 000010558
 レシートNo: 7837

*** 領収証明細 ***

領収書発行番号 0315
金名頁 ¥4,708

- 内10 コンセントチャージャ ¥1,419
 P4518707280701
- 内10 USB2.0 Typ ¥1,089
 P4518707300522
- 内10 Bluetooth ¥2,200
 P4573110524200

タブレット充電用
 充電器+ケーブル
 ウェブ会議用
 ヤホン

小計 ¥4,708
 (内税10%対象額 ¥4,708)
 買上点数 3点

合計 ¥4,708
 (税率10%対象額 ¥4,708)
 (内消費税等10% ¥428)

JAL PLAZA
 中部空港中央ゲート店
 TEL: 0569-38-7062
 愛知県常滑市セントレア1-1

但し、

¥4,708-

領 収 書

消費税

428円を含む

No. 970201-03
 2025年10月

として上記正に領収いたしました

※領収書には必ず、保管番号を記載し、印刷面を内側に折り返すようお願いいたします。

株式会社ヤマダデンキ
 本部 群馬県高崎市栄町1-1
<https://www.yamada-denkiweb.com>

登録番号: T2070001036729

テックランド 四日市店 059-350-2111
 営業時間: 朝10時~夜8時
 出張修理ご依頼は下記専用ダイヤル
 北ダイヤル 0570-022-233まで

領収書

No. 0186-412-183397 [カート売]
 2025/10/01 15:28
 レジ担当: 456384
 販売担当: 456384
 会員No: 9012925217235*

4384231012 UDC01SGY SSS
 USBHUBケーブル 1:持帰 外10

¥7,570
 会員値引対象(5%) -¥379
 9006108017 カイン社 行キヨブ ZZZ
 データジョウキ 1:持帰 外10
 ¥0

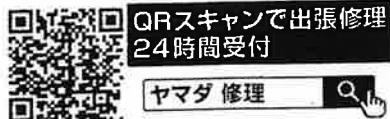
会員値引額計 -¥379
 小計 ¥7,191
 +消費税
 税込計 ¥7,910
 ポイント値引 OP
合計 ¥7,910
 (内消費税 ¥719)

シルバーランク
 あと178,974円のご購入で
 ゴールドランクになります。



商品の返品につきましては必ずこのシートとお客様カード(お持ちのお客様)をお持ち下さい。お持ちでない場合返品ができません。

印紙税申告納付につき高崎
 税務署承認済



QRスキャンで出張修理
 24時間受付

ヤマダ修理

【お問合せレシート番号】
 0186-412-183397

内 訳 明 細

令和7年 10月分 No.7

諸岡 寛

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	143,076	視察研修費一式
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 費	0	
合 計	143,076	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	新風創志会							
参加者氏名	諸岡 寛							
用務先	東京							
実施日	令和7年10月2日 (木) ~ 令和7年10月3日 (金)							
目 的	地方議員研究会セミナー研修							
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
10/2	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 品川	359.2 KM	JR	6,380 円	4,510 円	円	朝食付	東京都
	品川 ~ 大崎	2.0 KM	JR	↓ 円	円	円	1,600 円	21786 円
	大崎 ~ 国際 展示場	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		【上限額】
10/3	国際 展示場 ~ 大崎	8.7 KM	私鉄	340 円	円	円		(27,000 円)
	大崎 ~ 新宿	8.6 KM	JR	6,380 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	新宿 ~ 東京	10.3 KM	JR	↓ 円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	↓ 円	5,120 円	円	0 円	円
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				14,960 円	10,670 円	0 円	1,600 円	21,786 円
合 計				49,016				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	新風創志会							
参加者氏名	諸岡 覚							
用務先	小千谷市、東京							
実施日	令和7年10月20日 (月) ~ 令和7年10月22日 (水)							
目 的	全国若手議員の会OB会、地方議員研究会セミナー(東京)							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当 (1泊目)	(包括)宿泊費 (1泊目)
10/20	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	17,620 円	4,920 円	円	食事なし	新潟県
	東京 ~ 長岡	270.6 KM	JR	円	4,270 円	円	2,400 円	6000 円
	長岡 ~ 小千谷	16.2 KM	JR	330 円	円	円		【上限額】
	小千谷 ~ ホント 力。前	KM	バス	200 円	円	円		(22,000 円)
10/21	ホント 力。前 ~ 小千谷	KM	バス	200 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	小千谷 ~ 長岡	16.2 KM	JR	330 円	円	円	食事なし	東京都
	長岡 ~ 東京	270.6 KM	JR	円	4,270 円	円	2,400 円	23200 円
	東京 ~ 新宿	10.3 KM	JR	円	円	円		【上限額】
	新宿 ~ 東京	10.3 KM	JR	円	円	円		(27,000 円)
10/22	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	円	4,920 円	円	(3泊目)	(3泊目)
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				20,200 円	19,420 円	0 円	4,800 円	29,200 円
合 計				73,620				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

B No. 099259

RECEIPT 領収書

Date
日付 2025年10月21日



Name
お名前

諸岡 覚

様

Amount
金額

¥ 24,206-

税率	税込金額	消費税額	入金種別
10%	24,006 円	2,182 円	<input type="checkbox"/> 現金 (Cash) <input checked="" type="checkbox"/> クレジット (Credit) <input type="checkbox"/> その他 (Other)
8%			()

In Payment of
但し

- Room charge 御宿泊代として
 Food and beverage 御飲食代として
 Accommodation Tax 東京都宿泊税として 200 円含む
 Extra charge 御延長代として
 Other 内 () 宿泊代 22,706円、朝食代 1,500円、浴室利用(2,420)円含む

The above amount has been duly received with thanks.
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 京王プレッソイン 〒160-0022 東京都新宿区新宿3丁目1番24号 京王新宿3丁目ビル8階 登録番号 T9-0111-0103-1874
KEIO PRESSO INN CO.,LTD.

PRESSO
INN

- 京王プレッソイン神田 03-3252-0202
- 京王プレッソイン新宿 03-3348-0202
- 京王プレッソイン大手町 03-3241-0202
- 京王プレッソイン日本橋茅場町 03-3669-0202
- 京王プレッソイン五反田 03-5436-0202

- 京王プレッソイン池袋 03-5396-0202
- 京王プレッソイン東京九段下 03-3511-0202
- 京王プレッソイン赤坂 03-5562-0077
- 京王プレッソイン東京駅八重洲 03-3279-0202
- 京王プレッソイン浜松町 03-3438-0202

Clerk
担当者印



受領書

諸岡 様

¥ 24,206 円

但し 1/2分 宿泊料 (館内TEL)

令和 7年10月21日

10%合計 消費税込 ¥26,000
8%合計 消費税込 ¥545

小千谷市本町1丁目

ホテルプラザ片山

電話 82-2051 番



事業者登録番号
T7110001028007

税率	金額	消費税率等
10%	24,006 円	2,182 円
8%		

TEL:03-6435-5226 FAX:03-6435-5227
登録番号:T3010401123882

証

諸岡 覚

様

No.

2025年10月21日 上記正に領収いたしました
登録番号 T9-0111-0103-1874
〒107-0052 東京都港区赤坂3丁目19番3号
セシエリオンホテルグラント赤坂
10月21日 宿泊

¥ 23,200 -

令和7年9月24日(水)

三重県四日市市議会 新風創志会
諸岡覚 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6875-7448

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

お申込み講座	金額
① 2025年10月3日(金)10時～黒瀬講師【東京】データであなたのまちの特徴を知る方法	¥15,000
② 2025年10月22日(水)10時～杉本講師【東京】「初動」で決まる信頼と影響力 ※1講座5	¥5,000

領収書宛名： 新風創志会 諸岡覚 様

ご請求額： ¥20,000

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。

住信SBIネット銀行 法人第一支店 106

普通 2753145

名義 株式会社H3O(カ)エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名
※会派名でお振込をいただくことがあります、全国的に同じ会
※どなたからのお振込かわかりかねる例が多くございます。ご協
※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりま
※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりまし
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりです。なお操作が正しく
終了しなかった場合は、係までお問い合わせください。

☆☆☆出金☆☆☆

お取引金額 ¥20,000
お手数料 ¥440

お取引後残高*****

お受取人
住信SBIネット銀行
法人第一支店
普通 2753145
カ)エイチスリーオー 様

ご依頼人
モロオカ サトル 様

電話番号 [REDACTED]

取引年月日	取扱店	機番	時刻	受付番号
070925	0105051		10:44	0021
銀行番号	支店番号	科目・口座番号		
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
通番	001895	ご説明コード		

三十三銀行


（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年10月30日

実施日時	R7年10月3日 午前
参加者氏名	諸岡覚
用務先	リファレンス西新宿大京ビル
対応者	黒瀬雄大氏
目的・内容	セミナー受講
成果・所感	<p>黒瀬雄大氏によるセミナー「あなたのまちの特徴を知る方法」を聴講しました。</p> <p>講演では、地域の魅力や課題を客観的に把握するためのデータ分析や可視化の手法が紹介されました。</p> <p>黒瀬氏は、統計データや地図情報を活用して、人口構成、産業構造、交通、教育、医療など多角的な視点から地域を分析することで、そのまち固有の傾向や強みを浮き彫りにできると説明。数字の裏にある住民の生活実態を読み解く姿勢が印象的でした。</p> <p>また、データを行政施策だけでなく、地域振興や民間ビジネスにも活かすことで、より実効性あるまちづくりにつながるとの提言もありました。</p> <p>統計を「点」ではなく「物語」として捉える発想に共感を覚え、自分のまちを改めて見つめ直す契機となりました。</p>

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年10月30日

実施日時	R7年10月2日 午後
参加者氏名	諸岡 覚
用務先	東京国際展示場 危機管理産業展
対応者	
目的・内容	危機管理に関する最新技術に関する情報収集
成果・所感	<p>東京国際展示場で開催された「危機管理産業展（RISCON TOKYO）」を視察しました。最新の防災・危機管理技術が一堂に会する場であり、自治体や企業が災害対応力を高めるための先進的な取り組みを直接確認できる貴重な機会となりました。特に注目したのは、「米国データドリブン防災リスク軽減（DRR）ソリューションのご紹介」というセミナーです。講師は、AIやビッグデータを活用して災害リスクを可視化し、予測・判断を科学的に支援する米国の最新事例を紹介しました。これにより、従来の経験や勘に頼る防災から、データに基づく“予測型防災”への転換が進んでいることを実感しました。四日市市においても、こうした技術を行政計画にどう取り入れるかが、今後の災害対応力向上の鍵になると感じました。なお、セミナーは写真撮影禁止、資料無しでしたので、添付できる資料はありません。</p> 

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年10月30日

実施日時	R7年10月20日 午後
参加者氏名	諸岡覚
用務先	小千谷市「ホントカ」
対応者	ホントカ施設長 田中健氏他数名
目的・内容	施設見学並びに説明聴講
成果・所感	<p>小千谷市にある地域交流拠点「ホントカ」を視察しました。</p> <p>この施設は、空き店舗をリノベーションして生まれた多目的スペースで、カフェ、コワーキング、イベント会場などとして市民や来訪者に開かれています。</p> <p>訪問時には、地元の若者や移住者、企業関係者が自由に集い、まちづくりや地域課題について語り合う姿が印象的でした。</p> <p>運営に携わるスタッフの方々は、「まちの実験場」として新しい挑戦を後押しする姿勢を大切にしており、地域資源を柔軟に活用する工夫が随所に見られました。</p> <p>行政主導ではなく、市民と民間の力を融合させる場としての完成度が高く、地方都市における持続的なまちの活性化モデルの一つとして大いに参考になりました。</p> <p>この発想は本市の新図書館にも生かせると確信します。</p>

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年10月30日

実施日時	R7年10月20日 午後
参加者氏名	諸岡覚
用務先	小千谷市「錦鯉の里」
対応者	小千谷市にぎわい交流課 施設長様
目的・内容	施設見学並びに説明聴講
成果・所感	<p>新潟県小千谷市にある「錦鯉の里」を視察しました。</p> <p>ここは、世界的にも知られる小千谷発祥の錦鯉文化を紹介する施設で、観賞池には多彩な色模様を持つ錦鯉が優雅に泳ぎ、来訪者を魅了していました。</p> <p>館内では、錦鯉の歴史や品種、育成技術などが詳しく展示されており、地域の伝統産業としての誇りと継承への努力が感じられました。</p> <p>また、観賞だけでなく、国内外からの観光客やバイヤーとの交流拠点としての役割も果たしており、小千谷市の地域ブランド発信に大きく寄与しています。</p> <p>地元の自然環境や人々の丁寧な飼育文化が育んだ錦鯉は、まさに「泳ぐ宝石」と呼ぶにふさわしい存在であり、地域資源を活かした観光振興と国際交流の好例として大いに学ぶ点がありました。</p>

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年10月30日

実施日時	R7年10月21日 午前
参加者氏名	諸岡覚
用務先	水田株式会社
対応者	水田育夫 会長 黒崎愛子社長
目的・内容	無形文化財「小千谷縮」について
成果・所感	<p>新潟県小千谷市にて、無形文化財「小千谷縮（おぢやちぢみ）」の製造元である水田株式会社を訪問し、見学と説明を受けました。</p> <p>小千谷縮は、江戸時代から続く伝統的な麻織物で、強撚糸による独特の「シボ（しわ）」と、軽やかで涼感のある風合いが特徴です。</p> <p>見学では、糸の撚りから織り、仕上げの雪晒しに至るまで、一つ一つの工程が高度な職人技に支えられていることを実感しました。</p> <p>特に、天然の雪の反射光を利用して布を白く仕上げる「雪晒し」の工程は、自然と共生する地域の知恵を象徴するものとして印象的でした。（写真解説含む）</p> <p>水田株式会社では、伝統を守りつつも現代的なデザインや新素材への挑戦も行っており、文化の継承と革新の両立に強い意志を感じました。</p> <p>地域産業としての誇りと、美しい手仕事の価値を改めて認識する視察となりました。</p>

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R7年10月30日

実施日時	R7年10月22日 午前
参加者氏名	諸岡 覚
用務先	リファレンス西新宿大京ビル
対応者	黒瀬雄大氏
目的・内容	セミナー受講
成果・所感	<p>杉本康介氏によるセミナー「初動で決まる信頼と影響力」を受講しました。</p> <p>講演では、組織や個人が危機的状況や重要局面に直面した際、「最初の一歩」がその後の信頼関係と影響力を大きく左右するという点が強調されました。</p> <p>杉本氏は、初動対応における3つの鍵として「迅速さ」「誠実さ」「一貫性」を挙げ、特に“誠実な即応”が信頼構築の基礎になると述べました。</p> <p>具体的な事例を交えながら、情報発信や行動判断の遅れが組織の信用を損なうリスクを指摘し、平時からの準備と意識改革の必要性を説かれました。</p> <p>リーダーとしての言動が周囲に与える影響の大きさを改めて認識するとともに、危機対応のみならず、日常の業務においても「初動の質」を高める姿勢が信頼を生むとのメッセージが心に残りました。</p>



受付番号：G08273857490410

js://morooka1233.wixsite.com/morooka1233/morooka1233/morooka1233.wixsite.com/morooka1; 諸岡 寛



<来場者証について>
二次元/バーコードには個人情報情報が紐づけられていますので、取り扱いは十分ご注意ください。

<入場方法>
1. 本証をカラー印刷して会場まで持参してください。
2. 会場内のホリダーへ本証を4つ折りに入れてください。
※二次元/バーコードが見えるように折ってください。
3. 入場ゲートで来場者証を提示してください。
※退場時にも提示が必要です。
※コピー厳禁。必ず一人一登録をお願いします。
※本証にてテロ対策特殊装備展 (SEECAT) への入場はできません。SEECAT公式Webサイトから入場審査をお願いします。



受付番号：G08273857490410

js://morooka1233.wixsite.com/morooka1233.wixsite.com/morooka1; 諸岡 寛



【セミナー聴講登録内容】

10/2(木) 13:00~13:45 A会場 [RA-8]

<ご入場における注意事項>

下記に記載の活動や行為は禁止のため、該当の方は入場できません。展示会場内で該当の活動や行為を行った場合、展示会場から退去していただきます。

次回開催のご案内

Risk Control in Tokyo
RISCON
OKYO

SEECAT
Special Equipment Exhibition & Conference for Anti-Terrorism

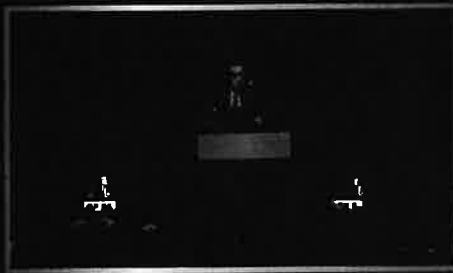
危機管理産業展2026

テロ対策特殊装備展'26

9/30 **水** - 10/2 **金**

次回は規模拡大して開催決定!

東京ビッグサイト
南展示棟全館 (南1~4ホール)



2026年春より出展募集開始予定!

資料を
ご希望の方

裏面の内容をメールまたはFAXにてご返送ください。

(公式WEBサイト「お問い合わせ」または下記Eメールアドレスからも資料請求いただけます。)

■お問い合わせ先

RISCON TOKYO / SEECAT 事務局

URL: www.kikikanri.biz

TEL: 03-3503-7641 FAX: 03-3503-7620

E-mail: ofc@kikikanri.biz

令和7年9月吉日

全国若手市議会議員の会 OB会 会員 各位

全国若手市議会議員の会 OB会
会長 金子 渡
(群馬県議会議員)

全国若手市議会議員の会 OB会「研修会」のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本会の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

標記の件につきまして、後記のとおり開催させて頂く運びとなりました。皆様方におかれましては、万障お繰り合わせのうえ、ご出席を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

研修会①終了後には、情報交換会も予定しております。会員相互の貴重な意見交換の場として、ご利用頂ければ幸いです。

翌日にも研修会②を予定しております。ふるってのご参加をよろしくお願い申し上げます。

なお、誠に勝手ながら、準備の都合上、10月10日(金)までに、別紙返信票にて、出欠につきましてご返信を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

心よりお待ちしております。

敬具

お問い合わせ先

担当 事務局長 伊藤 正実 m-itoh@din.or.jp
(今回の研修会幹事：久保田陽一・新潟県小千谷市議会議員
小林貴幸・長野県佐久市議会議員)

記

第1日目 令和7年10月20日(月) スケジュール

(参考・おすすめ)

集合時間前・午前中に小千谷市に来られた方は、是非とも「小千谷名物へぎそば」をご堪能ください

- ・角屋 (小千谷市桜町 4992 TEL0258-83-2234)
- ・わたや (小千谷市本町 2-3-34 TEL0258-82-2258)
- ・小千谷そば和田 (小千谷市東栄町 1-2-2 TEL0258-83-3283)

(集合時間)

13:15 小千谷市ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」集合

<研修会①—1>

時間：13:30～15:30

場所：小千谷市ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」 ホール他
(新潟県小千谷市本町一丁目13番35号)

演題：「図書館、郷土資料館、市民活動センターを統合した複合施設の運営に

ついて」

講師：小千谷市ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」施設長
田中 建 様 ほか
(施設見学を含みます)

<研修会①—2>

時 間：16:00～17:00
場 所：錦鯉の里（新潟県小千谷市城内町一丁目8番22号）
演 題：「市の代表産物である錦鯉の飼育施設の運営について」
講 師：小千谷市にぎわい交流課 施設長 様 ほか
(施設見学を含みます)

<情報交換会>

時 間：18:00～20:00
場 所：「東忠 小千谷」（新潟県小千谷市元町11-11）
TEL 0258-82-2033-
参加費：7,000円（会員は「2,000円の補助」が出ます）
注）研修会①終了後、各自ホテルにチェックイン後、現場集合といたします。

二次会は用意しております。（4,000円程度）詳細は当日ご案内いたします。

第2日目 令和7年10月21日（火） スケジュール

09:50 水田株式会社 正門前集合（新潟県小千谷市旭町11-4）

<研修会②>

時 間：10:00～11:30
場 所：水田株式会社 会議室
演 題：「小千谷名産、無形文化財『小千谷縮』について」
講 師：水田株式会社 代表取締役会長 水田 育夫 様
代表取締役社長 黒崎 愛子 様
(施設見学を含みます)

11:45頃、解散予定

【昼食】

「勝龍（ラーメン）」小千谷市千谷川2-8-8 TEL0258-83-3370

これ以降は「アタック隊」。今回は「長岡市」にアタックします。

<アタック研修会1—1>

時 間：14:30～15:15
場 所：山本五十六記念館 会議室（新潟県長岡市呉服町一丁目4番地1）

内 訳 明 細

令和7年 10月分

No.8
会派

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	62,370	7/15視察参加費用
研 修 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
人 件 費	0	
事 務 費	19,284	コピー機カウント、SIMカード
合 計	81,654	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

RICOH

発行日 2025年10月25日
領収証No. BAT714

領収証

新風創志会 様

いつもリコー商品をご愛顧いただきましてありがとうございます。
2025年10月20日にお支払いいただきました代金の領収証を
お送りいたしますのでご確認ください。

領収種別：自販

金額

¥7,496

但し、商品代として

印紙税申告納
付につき大森
税務署承認済

株式会社
リコージャパン株式会社
東京都大田区中馬込一丁目

(お問合わせ)

部門 請求書お問い合わせ窓口

TEL 0120-611-099

(通信欄)

※当社ではこのフォームでの領収証には、黒色の印鑑を使用しております。
※金額等を訂正したものは無効とします。
※再発行は出来ませんので、大切に保管願います。
※入金取消し等の連絡があった場合、本領収証は無効となります。

領 収 証 書 (公)


市町村コード	三重県	口座番号	加入者名
242021	四日市市	00820-1-960965	四日市市会計管理者
〒 510-0085			
住所 四日市市諏訪町1-5			
新風創志会			
代表者 谷口 周司 様			

金額	¥3,927 円
納期限	令和 7 年 10 月 31 日
摘要	議員タブレットSIMカード利用料 (令和7年3月、4月利用分 新風創志会)

令和 7 年度 所属 951000 議事課
 会計 01 款 22 項 05 目 04 節 02
 細節 20 議会費雑入
 細々節 010 通信料負担金

納付場所

上記のとおり納入してください
 令和 7 年 5 月 12 日

四日市市長 

上記のとおり納入しました。
 (納入者保管)



領 収 証 書 (公)

市町村コード	三重県	口座番号	加入者名
2 4 2 0 2 1	四日市市	00820-1-960965	四日市市会計管理者
〒 510-0085			
住所 四日市市諏訪町1-5			
新風創志会			
代表者 谷口 周司 様			

金額	¥3,927 円
納期限	令和 7 年 10 月 31 日
摘要	議員タブレットSIMカード利用料 (令和7年5月、6月利用分 新風創志会)

令和 7 年度 所属 951000 議事課
 会計 01 款 22 項 05 目 04 節 02
 細節 20 議会費雑入
 細々節 010 通信料負担金

納付場所

上記のとおり納入してください
 令和 7 年 10 月 31 日

四日市市長 

上記のとおり納入しました。
 (納入者保管)



領 収 証 書 (公)

市町村コード	三重県	口座番号	加入者名
2 4 2 0 2 1	四日市市	00820-1-960965	四日市市会計管理者
〒 510-0085			
住所 四日市市諏訪町1-5			
新風創志会			
代表者 谷口 周司 様			

金額	¥3,934 円
納期限	令和 7 年 10 月 31 日
摘要	議員タブレットSIMカード利用料 (令和7年7月、8月利用分 新風創志会)

令和 7 年度 所属 951000 議事課
 会計 01 款 22 項 05 目 04 節 02
 細節 20 議会費雑入
 細々節 010 通信料負担金

納付場所

上記のとおり納入してください
 令和 7 年 9 月 12 日

四日市市長 

上記のとおり納入しました。
 (納入者保管)

